

2023年事業実績について

概要

2023シーズンの大分トリニータは、昨年から指揮を執る下平監督体制2年目となり、J1へ復帰することを目標として戦い、主力選手の移籍もありましたがシーズン前半を自動昇格圏内である2位で折り返すことができました。

シーズンの後半は勢いが一転し、怪我による主力選手の離脱も増え、勝点を積み上げられず自力での昇格が難しい状況のなか J1昇格プレーオフ進出を目標に最後まで戦いましたが、最終結果は17勝11分14敗(年間順位9位／全22チーム)となり、J1復帰を果たすことができませんでした。

大分トリニータ後援会では、2023年の入会実績が入会数 5,350 人(前年比:361人増)、入会費23,317,000円(前年比:1,099,000円増)となり、株式会社大分フットボールクラブに対し17,000,000円(前年比:1,445,000円増)の金額を財政支援しました。

(1)大分トリニータ後援会 DAY 開催

2023シーズン株式会社大分フットボールクラブのユニフォームスポンサーであり、後援会支部でもあるジェイリース株式会社と以下日程にて共同開催しました。

開催日:2023年5月7日(日) 明治安田生命 J2リーグ第14節

※14:00試合開始(対 ツエーゲン金沢)

名 称:ジェイリースサンクスデー&大分トリニータ後援会 DAY

場 所:レゾナックドーム大分

内 容:① 大分合同新聞イベント掲載

② マッチデイプログラム広告掲載

③ 後援会ブースにジェイリース FC 選手の派遣協力

④ ハーフタイム大抽選会(通常より3倍の賞品数)

※賞品提供支部

豊後大野支部・ゆふいん支部・杵築支部・玖珠九重支部・宇佐市役所支部・
豊和銀行支部・ジェイリース支部・オーシーグループ支部等

- ⑤ 卓上カレンダー&チームポスター(後援会オリジナル)プレゼント
- ⑥ 全会員 GO! J1ワイドカード(後援会オリジナル)プレゼント
- ⑦ 追加支援者にハンドタオルとハーフタイム抽選応募券プレゼント
- ⑧ 後援会支部 招待券配布

※招待券申請支部

佐伯支部・豊後大野支部・臼杵支部・杵築支部・大分市役所支部・宇佐市役
所支部・日赤支部・大分県信用組合支部・豊和銀行支部・2011支部・NTT
西日本大分グループ支部・オーシーグループ支部 合計591人来場(招待)

- ⑨ 支部バスツアー実施

※実施支部

佐伯支部

(2)支部活動状況

佐伯支部は1月15日(日)にトキハインダストリー佐伯店にて、後援会入会およびシーズンパスの受付を行い、ホームゲーム10試合(参加人数:266人)のバスツアーも実施しました。

また、2023シーズン開幕戦の2月26日(日)に大分県信用組合支部(参加人数:24人)と7月16日(日)のアウェイ熊本戦にて大分銀行支部(参加人数:36人)がバスツアーを実施しました。

(3)選手会等とタイアップしたイベント活動

入会促進に繋がるよう、株式会社大分フットボールクラブの松本怜 CRO が以下活動に参加しました。

- ・1月15日(日) 佐伯支部(後援会・シーズンパス)申込受付

(4)入会促進活動

各種入会方法(後援会支部・郵便振込・WEB 申込・ふるさと納税・クラブトリニータ・後援会事務局・試合会場)にて新規継続入会の申込を受付しました。

また、企業や自治体を実施するパブリックビューイング等のイベントにも後援会ブースを設置し、入会促進活動を行いました。

さらに、毎年入会数が減ってくる7月に新たな企画として、株式会社大分フットボールクラブの松本怜 CRO の直筆サイン色紙を特典とした追加支援を試合会場の後援会ブースにて受付しました。

総括

2023年の大分トリニータ後援会は、郵便およびWEB 受付をはじめ、株式会社大分フットボールクラブとのシーズンパス同時入会やクラブトリニータ(オフィシャルグッズショップ)、ふるさと納税など様々な入会促進活動を行いました。

また、ホームゲーム開催時には後援会ブースを設置し新規継続入会および追加支援の受付をすることで多くの会員獲得に努めましたが、目標(会費収入24,300,000円・会員数5,200人)に対して、会員数は達成しましたが会費収入が未達成となり、翌年以降の募集に向けて更なる入会促進活動や入会特典の見直しが必要と考えています。

今後とも各支部をはじめ会員の皆さまには、大分トリニータの活動を支援するため多くの会員獲得や賞品提供および協賛店紹介にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。